令和７年度　第６９回　全十勝高等学校柔道新人大会要項

主催 北海道高等学校体育連盟十勝支部

後援 十勝柔道連盟

当番校 北海道幕別清陵高等学校

１　期日 令和７年９月１４日（日）

８：００～　　　　　　　　開門・準備

８：４０～　　９：００　　体重計測

９：００～　　９：２０　　監督会議・審判打ち合わせ

９：３０～　　　　　　　　開会式

９：４５～　　　　　　　　団体戦試合開始

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　個人戦試合開始

１４：３０～　　　　　　　　閉会式（予定）

２　会場 帯広の森総合体育館

住所：〒080-0856 帯広市南町南７線56番地7 運動公園内　電話：0155--48-8912

３　競技規則

（１）国際柔道連盟試合審判規定による。

（２）「優勢勝ち」の判定基準

ア　団体試合は、「有効」または「僅差」（指導差２）以上とする。チームの内容が同等の場合は、代表選手を任意に選出して代表戦を行う。

　　　　代表戦で得点差がない場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を行う。

　　　　延長戦は「有効」以上の得点があった時点、または「指導」の数に差が出た時点で試合終了とする。

イ　個人試合は、「有効」または「僅差」（指導差２）以上とする。試合終了時に得点差がない場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を行う。

　　　　延長戦は「有効」以上の得点があった時点、または「指導」の数に差が出た時点で試合終了とする。

（３）試合時間

ア　団体試合は、すべて４分間とする。代表戦の延長戦（ゴールデンスコア）は時間制限を設けない。

イ　個人試合は、男女ともすべて４分間とする。但し、延長戦（ゴールデンスコア）は時間制限を設けない。

（４）絞め技及び関節技においては、その効果が認められたときは、審判員の見込みによって「一本」の判定を下すことができる。

４　競技方法

（１）団体試合

ア　トーナメント方式により行う。但し、参加校数によっては、試合方式を変更することもある。

イ　試合の勝敗の決定は次による。

1. 判定基準

選手対選手それぞれの試合の勝敗は「有効」または「僅差」以上とする。

※「僅差」は指導差２とする。

②「技の内容」と「指導」の重み

※【一本勝ち＝反則勝ち＞技あり＞有効＞僅差】の順とする。

③　団体試合のチーム対チームの勝敗の決定

以下の項目に従って勝敗を決定する。

（ア）勝ち数の多いチームを勝ちとする。

（イ）（ア）で同等の場合は「一本」による勝ちが多いチームを勝ちとする。

※ただし、一本勝ちと反則勝ちは同等とする。

（ウ）（イ）で同等の場合は「技あり」による勝ちが多いチームを勝ちとする。

（エ）（ウ）で同等の場合は「有効」による勝ちが多いチームを勝ちとする。

（オ）（エ）で同等の場合は代表戦を行う。

※代表戦はその対戦に出場した選手の中から任意に選出して行う。

（カ）代表戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、ゴールデンスコア方式の延長戦を行い、勝敗を決する。

延長戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を行い、必ず勝敗を決する。

このことは、１回戦から決勝までの全ての試合に適用する。

※代表戦における優勢勝ちの判定基準は「有効」または「僅差」（指導差２）以上とする。ただし、勝敗が決しない場合は、延長戦（ゴールデンスコア）を時間無制限で行う。延長戦の判定基準、実施方法は個人試合に準ずる。

（２）個人試合

ア　体重別によるトーナメント方式により行う。但し、階級毎の参加人数によっては、試合方式を変更することもある。

イ　男子個人戦は次の７階級とし、時間内に計量にパスしない者は出場を認めない。

６０ｋｇ級　 （６０ｋｇ以下の者）

６６ｋｇ級　 （６０ｋｇを超え、６６ｋｇ以下の者）

７３ｋｇ級　 （６６ｋｇを超え、７３ｋｇ以下の者）

８１ｋｇ級　 （７３ｋｇを超え、８１ｋｇ以下の者）

９０ｋｇ級　 （８１ｋｇを超え、９０ｋｇ以下の者）

１００ｋｇ級　 （９０ｋｇを超え、１００ｋｇ以下の者）

１００ｋｇ超級 （１００ｋｇを超える者）

ウ　女子の試合方法については、専門委員で審議し、決定する。

エ　女子については当日計量を行わない。

５　参加資格

（１）高体連加盟校の生徒であって、平成１９年４月２日以降に生まれた者であること。

ただし、同一学年での出場は１回限りとする。

（２）令和７年４月以降当該学校に在籍の者であること。

ただし、転校生については、転入後６ヶ月未満の者は出場できない。一家転住等やむを得ない場合は、高体連十勝支部長の許可があればこの限りではない。

（３）全日制・定時制の混成チームは認めない。

（４）引率者は当該学校の教員。監督は当該学校長の認めた教職員とする。

（５）脳しんとう対応として、選手およびその指導者は次の事項を遵守すること。

ア　大会１ヶ月以内に脳しんとうを受傷した者は、脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。

イ　大会中、脳しんとうを受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする（なお、至急専門医（脳神経外科）の精査を受けること）。

ウ　練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。

エ　当該選手の指導者は、大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

６　チーム編成

（１）チーム編成においては、全日制課程・定時制課程・通信制過程の生徒による混成は認めない。

（２）男子団体試合　　監督１名、正選手５名、補欠１名の合計７名をもって編成する。

７　組合せ方法

（１）組合せ抽選　　９月１０日（水）　１４時３０分より北海道幕別清陵高等学校にて専門委員が行う。

　　　　　　　　　　抽選結果は、申込関係書類のあるＵＲＬに掲載する。

８　参加申込

（１）方法　　　北海道幕別清陵高校のホームページより関係書類をダウンロードし、Excelデータ「参加申込書」の「入力シート」に必要事項を入力し、次のア、イの要領で送付する

ア　シート「申込書」を印刷後、公印を押印したものを大会当日提出する。

イ　アで作成したデータ「参加申込書」をメールに添付して大会事務局へ送付する。

**（ファイル名は学校名に変更）**

（２）申込先　　〒089-0571　089-0571　中川郡幕別町依田101番地1　幕別清陵高等学校

　　　　　　　　　　　　　　　　高体連柔道当番校事務局　担当　西山　修一

　　　　　　　　　　　　　　　　TEL 　０１５５－５５－６５０２

［メール送付先］　syu-nishi@hokkaido-c.ed.jp

（３）データ送信締切　９月　８日（月）１５：００まで

９　参加料

（１）団体試合出場校・・チーム５,０００円

（２）個人試合出場・・選手１名につき５００円（団体戦出場においても納入すること）

あ　※上記金額は、全て大会当日に受付で納入すること。

10　連絡事項　 （１）団体試合のオーダー用紙提出と選手変更届の提出

ア 団体試合オーダー用紙及び選手変更届（参加申込後に変更が生じた場合）は、所定の様式（当該学校長の出場認知書） により、大会当日監督審判会議開始までに専門委員長へ提出する。用紙は封筒に入れること。

 イ 提出されたオーダー用紙・選手変更届は、全てが揃い次第開封する。

 ウ 団体試合のオーダー用紙提出後は、配列の変更は認めない。

　　団体試合者が５名に満たない場合は、後ろ詰めとする。（先鋒、次鋒を空ける。）

エ 参加申込後の選手変更は男女とも１名を限度とする（選手変更により新たに登

録した選手は補欠に入れること）。 但し、感染症や天災等による場合はこれを

適用しない。

オ 競技開始後に選手変更の必要が生じた場合は、選手変更届を本部記録係に提

出し承諾を得ること。

カ その他、特別な理由がある場合は、監督会議において審議する。

11　注意事項

（１）試合開始後に選手変更が生じた場合には、選手変更用紙に必要事項を記入して本部記録に提出し、承認を得て交代すること。

（２）競技中の傷害・疾病などの応急処置は主催者が行うが、その後の責任は負わない。

（３）その他不明な点については、監督者会議において審議する。

（４）本大会団体戦上位４校（３位）を令和７年度高等学校柔道選手権大会十勝支部予選において、シードとする。また、個人戦各階級上位４名（３位）はシードの参考とする。

（５）試合に使用する紅白の帯は各学校で用意すること。

（６）会場の設営及び後片付けは出場選手で行うため、可能な限り協力すること。

（７）出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を得ること。